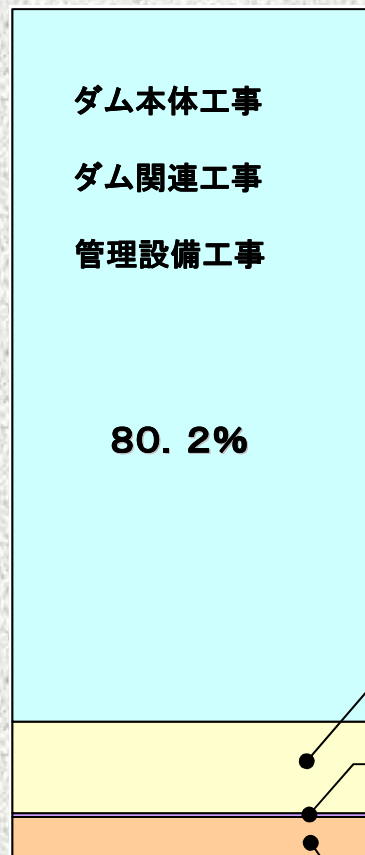


3. 平成21年度の事業実施計画と コスト縮減等の取り組み

■平成21年度事業予算の実施概要

H21事業費 43.7億円



○ダム本体工事

仮設備撤去、仮排水路閉塞、
試験湛水ゲート設置、ダム周辺整備等

○管理設備工事

通信設備工事、放流警報設備工事、
ダム管理用機械設備工事等

○ダム関連工事

貯水池法面保護工事等



○流量・水質観測等の継続的調査

○環境モニタリング調査

○堤体観測、貯水池法面観測

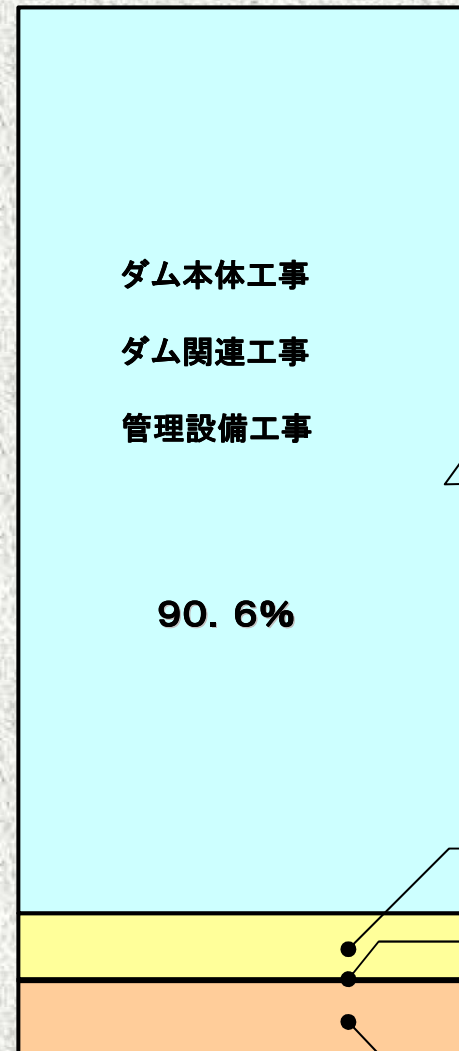
○各種検討・設計等

○一般補償(残土処理場精算)等

○森脇線等付替林道の改良・舗装工事

■平成21年度事業予算の実施概要

H21事業費 103.6億円



○ダム本体工事(コンクリート打設、基礎処理工等)

○管理設備工事

ダム管理庁舎、通信設備工事、放流警報設備工事、
ダム管理用機械設備工事等



○ダム関連工事

貯水池内伐採作業
貯水池法面保護工事等



○流量・水質観測等の継続的調査

○環境モニタリング調査

○ダム本体基礎処理評価

○各種検討・設計等

調査・検討・設計業務

4.4%

補償費

1.1%

○特殊補償(中電取水施設嵩上げ)等

付替道路工事

3.9%

○付替市道及び町道の概成及び供用開始

伐採木材の有効活用

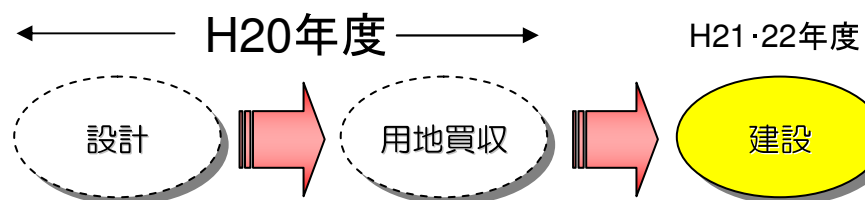
伐採木をチップ化し、法面のマルチング材として再利用することで処分費の縮減を図る。

縮減額は現在精査中。次回委員会で報告します。

管理用宿舎等のとりやめ

ダム管理に必要な職員の宿舎等を他事務所等の宿舎を活用することで宿舎新築費用の削減を図る。

当初計画



変更



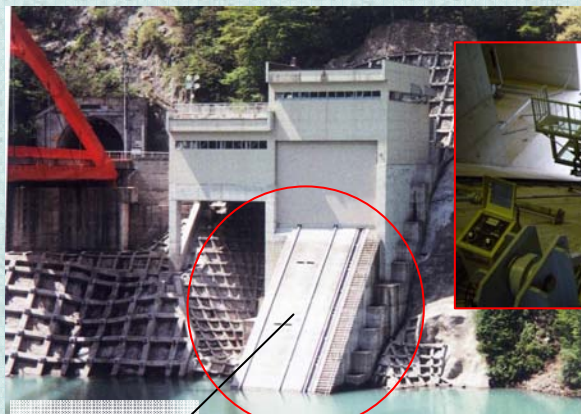
建設費（当初）221百万円 → （変更）0百万円

約221百万円のコスト縮減

（志津見・尾原ダム各110.5百万円）

管理用船舶関連設備(尾原ダム) 平成21～22年度

ダム湖の巡視、ゴミ等回収するための作業船の揚げ降しをインクライン方式から坂路方式に変更(既設坂路を活用)。



インクライン設備



※写真は他ダムの事例

(当初)390百万円 → (変更)2百万円
388百万円のコスト縮減

99%コスト低減

作業船の規格を双胴船から和船に見直し。



双胴船



和船

※写真は他ダムの事例

(当初)37百万円
→ (変更)4百万円
33百万円のコスト縮減

89%コスト低減